

新年明けましておめでとうございます。

令和七年の新春にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

村民の皆様には、平素から村政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

令和三年の村長就任後、早いもので四月には一期目の任期満了を迎えますが、昨年三月、村議会定例会において、次期村長選挙に立候補する旨、所信表明をいたしております。

役場が、地域に暮らす人たちにとって、いつも身近であること、そして信頼されなければならないという思いで、二期目に向け、今後も、村民との対話を重視し、村民が主役の村政運営実現と推進のため、強い決意で最善を尽くして参ります。

去年は、各地区での円卓会議にたくさんのご参加をいただき、防災に関することや生活全般に関わることなど、普段の生活の中で感じている、貴重なご意見やご要望をいただきました。

また、村商工会やシルバー人材センター会員との意見交換を行い、それぞれの視点からのご提案や思いを伺うことができました。

そして、村の未来を担う子どもたちの意見を村政に反映させることを目的に、小学生を対象とした円卓会議の開催に加え、四回目となる「中学生議会」を開催し、子ども達が普段の生活で感じている、教育設備等の充実や地域の活性化についてなど、様々なご提案をいただきました。

いずれも、私が最も大切にしている施策でありますので、貴重なご意見やご提案を、今後の村政運営の参考にさせていただくとともに、実現に向けて努力して参りたいと考えております。

また、八月には、村内の企業や事業所に勤務する若手職員等が中心となり実行委員会を組織し企画した、住民参加型イベント「東通ドン！とボン盆フェスタ」、十一月には「東通村音楽祭」が開催されました。

今後も、若者の自由な発想と行動力で、子どもからお年寄りまで、広く全世代が参加し、楽しめるイベントを創り上げていただきたく、

村としても全力で支援して参りたいと考えております。

ところで、昨年の我が村の第一次産業ですが、農業は、記録的な猛暑の影響で、「水稻」、「そば」、「大豆」の品質低下が心配されたものの、平年以上の収穫となりました。

一方、漁業においては、村の主力魚種であるスルメイカ漁並びにサケ漁が壊滅的な不漁に見舞われており、更には、資材や燃油高騰により、漁業経営は大変厳しい状況が続いております。

村といたしましては、村水産振興推進協議会や漁師円卓等で、広くご意見を伺い、今後の方向性を協議して参りたいと考えております。

さて、我が村は、原子力発電所との共生をもつて、各種基盤整備と地域経済の発展を目指し、各施策を進めて参りました。

しかしながら、今年で、東通原子力発電所東北電力一号機の運転停止そして東京電力一号機の本格工事中断から十四年が経過しようとしています。

両事業者に対して、私は村長就任以来一貫して、それぞれ再稼働と工事再開に至るまでの具体的な道筋、ロードマップを示し村民に対して公表するよう求めてきましたが、未だに具体的な道筋は示されておりません。

このような状況の中、昨年十一月には、村議会とともに、両事業者に対し、「東北電力一号機の早期の再稼働」、「東京電力一号機の早期の工事再開」について、強く要望し、併せて、「原子力発電所の安全確保と信頼確保」、「原子力災害対策の充実・強化」「立地地域との共生・共創」を要望するとともに、改めて、村民の悲痛な声と村の現状について直接訴え、責任のある対応を求めました。

国策である原子力政策は、国、事業者、立地地域の信頼関係なくして進むものではなく、特に、村民の皆様が、原子力との共生を持続的に実感していただけることが重要であるため、今後も、国、両事業者に対し、強く訴え続けて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

このように東通村は、少子化、人口減少、長引く漁業の不振、地域経済の低迷等々の課題が山積しており、この現状を打破するため、**「未来へ挑戦しつづける村づくり 全世代が活躍できる東通村」**のスローガンのもと、各種政策を展開して参ります。

村民が主役の村政運営実現に向けて、「円卓会議」や「こども議会」等、村民の声を村政に反映させるための施策を柱に、次世代が主役で活躍・挑戦できる**「ひとつづくり」**、地域産業が活躍・挑戦できる**「しごとづくり」**、全世代が元気に活躍できる**「健康・生きがいづくり」**、防災・減災を軸とした全世代を守る**「暮らしづくり」**、そして原子力を軸としたエネルギーとの共生・共創を目指す**「地域づくり」**を着実に実施するべく、施策を展開して参りますので、引き続き、ご理解、ご協力そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

村民の皆様の今年一年のご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年に当たったのご挨拶と致します。